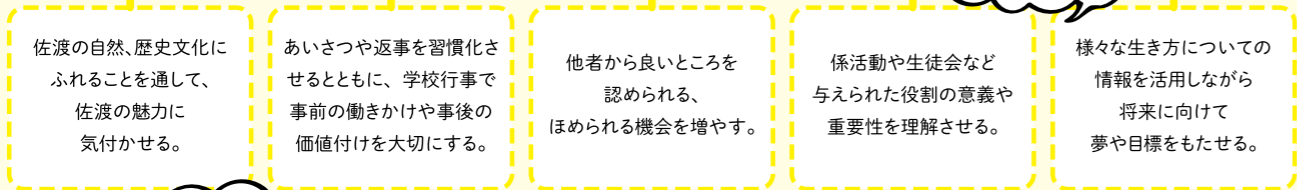


佐渡市学校教育における キャリア教育グランドデザイン

育てたい力と姿



推進の視点



育てる過程

保育園・幼稚園・.....小学校.....中学校.....高等学校.....

あいさつの習慣化、「あいさつのおもてなし」

子どもの創意の発揮や協働の機会、出番が保障された体育的・文化的行事

地域をフィールドにした体験活動 「地域の課題解決」や「キャリアプランニング」の視点を取り入れた体験活動や「佐渡学」の学習

日常的なキャリアカウンセリング

学級やグループの中で課題を立てその解決に向けて情報を集め話し合いながら整理して発表する学習

職場見学（小学校）・職場体験（中学校）・インターンシップ（高校）の充実

連携のポイント

家庭

食卓など家族の会話を大切にする。
大人が仕事について語る。背中で見せる。

子どもの良さを認め、将来の可能性についてアドバイス=家庭で行うキャリアカウンセリング

地域

あいさつを大切にする。
地域行事や公民館活動などに子どもを含む多くの住民を巻き込むとともに、積極的な参加を促す。

子どもの居場所と出番

企業

職場見学、職場体験、インターンシップで子どもを育てる視点を大切にする。
自社の情報や取組を積極的に発信する。

仕事について語る姿で示す

佐渡の未来を担う人三つの姿

- 佐渡で成長し活躍する人
- 佐渡に帰り心身ともに大きくなって活躍する人
- 佐渡を外から支え応援する人

佐渡市の目指すキャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度を育てることを通して、自分の役割を果たしながら自分らしい生き方の実現を目指す教育。本市においては、郷土愛を育み、本市に貢献しようとする人材の育成を目指す。



キャリア教育イメージキャラクター「かんガエル」
サドガエルの子ども。佐渡の田んぼで生まれました。

佐渡の子どもたちに どんな大人に成長してほしい？

VOICE ワークショップの声

佐渡市教育委員会主催 キャリア教育学習会
2017年2月21日、4月25日、6月21・22日より



感想

大人である私たちが率先して佐渡の魅力や素晴らしさを伝えていくことが大切だと感じた

学校も企業も想いは同じなんだと改めて思った

①今日の気づき・感想
どんな大人に成長してほしいかと考えた時に、私自身か、そのような大人になれているのだろうかと考えさせられました。私は自分自身が、未来を担う子どもたちの道るべになれるような生き方をしなければならぬのだということか確認できました。

ワークショップの気づき

②子どもたちの成長のために職場体験を通じて出来ること・やってみたく、仕事の内容だけでなく、働く人の生き方を矢張りもらえよう。まずは自分で見学がしてみよう。

